

中大木造普及加速化プロジェクトQA

No.	項目	質問	回答
1	募集	提案募集は今回限りか。	現時点では、今回限りの募集としています。応募状況等に鑑み、必要に応じて次回の募集を検討することとします。
2	//	「一般枠」で選定されることのメリットは何か。	ご提案の構法について、有識者による評価の結果も含めて「構法解説集(案)」として広く周知されますので、認知度の向上につながります。
3	要件	「木造」とは何か。①【混構造は応募の対象になるか】	1階が非木造、2～5階が木造の場合は対象となります。その階が木造か非木造かは、その階の構造部材の大半を木材が占めるか等により判断します。
4	//	「木造」とは何か。②【CLT等の「等」は何を指すのか】	製材・集成材以外の木質材料で、LVLなどのエンジニアリングウッドを想定しています。
5	//	基本要件における「コスト、施工性等の点で高い競争力を持つ」とはどのような意味か。	S造、RC造等の非木造建築物と比較し、大幅に高額となる、特殊な施工技術を要する等のものではなく、一般的な施主、地域の施工者等に選択され得るものを指します。
6	//	コストはどのように算出すればよいか。	一般的な積算方法で構いません。ただし、技術をセミオープンとする場合の使用料、技術開発を要する場合の費用等を加味した金額としてください。
7	//	耐火構造、準耐火構造などの防耐火の要件はないのか。また、準耐火構造より耐火構造の方が評価されるのか。	耐火構造、準耐火構造どちらでの提案も可能です。また、評価は複数の「評価の視点」に基づき行いますので、耐火構造が汎用性の点で評価されたり、準耐火構造が「木造らしさのPR」の点で評価されたりと、一概に評価に優劣があるとは言えません。
8	//	「実装」とは、どのような状況を指すか。	ご提案の構法について、実際に建設することができる見通しであること（確認手続に提示する技術データの準備や、必要な場合は任意評定や大臣認定の取得に関して、目途がついている状況）をいいます。

No.	項目	質問	回答
9	//	「個別の会社のみ利用が限定されるものではないこと」とあるが、どの程度のオープンさが求められるのか。	構法の使用にあたり、特殊な条件を課す、高額な技術使用料等を請求するものでなければ構いません。 ただし、「検討支援枠」の場合は、技術使用料等のコストが、地域の設計者・施工者に広く利用いただける水準のものであることが必要です。
10	検討支援枠の要件	チームの構成員である「技術指導者」は、大学教員等である必要はあるか。	必ずしも、大学教員など教育機関に属する者である必要はありません。 ただし、民間の研究機関への所属、論文の発表、各種学会での検討への参画など、一定の研究的活動を行っている技術者であることは必要です。
11	//	チームの構成員である「構造材の供給者」は、実装段階で複数想定される、現在は決まっていない等の場合には、どのようにすべきか。	構造材の供給者として想定される者を網羅的に含めることを求めるものではありません。構法に用いる構造材の生産が可能であり、必要な技術的な検討を行う木材事業者等がチーム構成員となることを想定しています。
12	支援	検討支援枠が受けられる検討費用の助成の対象となるのはどのような費用か。	提案内容の実装に向けた検討に係る費用として、例えば、解析的な検討を行う場合の作業費、実験を行う場合の試験体費や実験の委託費、検討のためにチームで会議等を行う場合の交通費や貸会議室費などが対象になります。
13	評価の視点	「評価の視点」で、最も重視されるものや、優先順位などはあるか。	「評価の視点」は、各々が独立した視点であり、その間に優先順位等はありません。 なお、最終的な評価は、ご提案の構法の特徴を示すことに主眼を置いているため、総合評価でなく「評価の視点」毎の評価を示すこととしています。 (ただし、一般枠・検討支援枠の選定では、有識者会議において総合的に審査することとなります。)
14	//	木造においては、耐久性、維持管理容易性等の確保も重要と考えるが、これらは評価されるのか。	今回募集する提案は「構法及びそれを実装するための部材供給等の枠組み」としてしています。そのため、ディテールに大きく左右される耐久性、維持管理容易性、省エネ性等の性能は、評価の対象とはしておりません。
15	//	「木造らしさのPR」における「あらわし」とは、いわゆる燃えしろ設計の準耐火構造だけでなく、木質耐火部材でも評価されるのか。	木質耐火部材の表面の木材を含めて防耐火性能を担保するものであれば、いわゆる燃えしろ設計と同等に評価されることとなります。一方で、例えば、耐火告示仕様（石こうボードの耐火被覆仕様）の木柱の表面に木材を貼ることは「あらわし」として評価はされません。

No.	項目	質問	回答
16	//	<p>「地域性等も考慮のうえ、安定的に調達できる構造材（加工を含む）」とは具体的にどういうことか。</p>	<p>広く一般的に利用されている樹種（スギ、ヒノキ（中～西日本）、カラマツ（東～中日本）など）であって、断面寸法や材長・強度等の面で各地域で一般的に製造・流通している構造材を想定しています。また、プレカット等の加工についても、本プロジェクトにおける検討により対応可能となるものも含め、可能な限り幅広い工場に対応できるものが望まれます。</p>